

オアシススケッチ

● 体験談を大いに語る



講演する鎌田寛さん

諏訪中央病院名誉院長の鎌田寛さんが講師を務めた町社会福祉協議会主催の福祉講演会が、12月16日に開かれ360人が集まりました。鎌田さんが語るおもしろくも感動的な体験談に、会場の勤労福祉センター（エスペランス丸山）は笑いと涙に包まれました。

かつて脳梗塞が多かった諏訪地域は、鎌田さんの健康体操を通じた取り組みで、住民が自身で行動を変容し「日本一の健康の町」になりました。講演で鎌田さんは「他人のために『行動変容』することで、住み続けたいまちをつくることできる」と阿久比町へ激励の言葉を贈ってくれました。

● ラグビー場を駆け回る



ゴールに向け走る子どもたち

英比小学校の児童37人が12月15日、瑞穂ラグビー場（名古屋市）で“タグラグビー”の試合に臨みました。雨の降る中“英比小タグオールスターズ”の子どもたちは、緑の芝生の上で全力プレーを見せました。

タグラグビーは、身体の接触や地面に倒れこむプレー（タックルやスクラムなど）がないラグビーです。ボールを持った攻撃の選手は、腰のベルトに付けた帯状のタグ（リボン）を相手チームの選手に取られると、ボールを放さなければいけないルールになっています。英比小の子どもたちは、敵チームの手をかいくぐり、ゴール目指してグラウンドを駆け回りました。

シリーズ食育⑩ 食育に関する情報提供の充実

今回は、阿久比町食育推進計画の「基本目標4 食育ネットワークの形成」中の『食育に関する情報提供の充実』を取り上げます。

□問い合わせ先 産業観光課農政係 ☎(48)1111 (内227)

町の取り組み

この施策では、以下の2点を主な取り組み内容としています。

- 「食」に興味を持ち、自ら積極的に「食」に関する情報収集を行うためにも、正しく、わかりやすい情報を発信します
- 広く情報が伝わるよう、食品購入の機会や地域の活動などを有効に活用し、「食育」に関する情報提供や啓発に努めます

家庭での取り組み

次の3点について、できることから少しずつ実践していきましょう。

- 食に関心を持ちましょう
- 食に関する知識を高め、食育の必要性を理解しましょう
- 食に関する正しい情報を積極的に収集しましょう



食育お役立ち情報

来月以降、町で行う食育関連事業を紹介します。

◎手づくりみそ講習会

開催日 2月7日(木)

内容 阿久比産の大豆を使い、添加物なしのみそを作ります。15ページのお知らせ記事をご覧ください。

問い合わせ先 産業観光課商工労政係 ☎(48)1111 (内234)

◎米粉でクッキング（申し込みは終了）

開催日 2月10日(日)

内容 米粉を使って、おやきなどを作ります。

問い合わせ先 社会教育課公民館係 ☎(48)1111 (内260・261)

◎阿久比の伝統料理（申し込みは終了）

開催日 2月23日(土)

内容 阿久比(知多地方)の伝統料理を作ります。

問い合わせ先 社会教育課公民館係 ☎(48)1111 (内260・261)

◎健康なんでも相談日

開催日 毎月第1・第3金曜日

内容 保健師による健康相談を行います。

問い合わせ先 健康介護課保健係 ☎(48)1111 (内311・312)